



# 大規模集合住宅における 地域包括ケアの実践 ～日生ケアビレッジひばりが丘～

平成28年9月15日

株式会社 日本生科学研究所

代表取締役 青木 勇

於:さいたま新都心合同庁舎1号館2階講堂





# 会社概要

商号	株式会社 日本生科学研究所 代表取締役 青木 勇
本社所在地	〒162-0054 東京都新宿区河田町3-10
設立	昭和1984年9月21日
資本金	9,700万円
従業員数	約1500名（契約社員、パート含む） 2016.4 現在
電話	03-3341-2421（代）
FAX	03-3341-1737
ホームページ	<a href="http://www.jlsri.com">http://www.jlsri.com</a>
事業内容	医薬事業（日生薬局37店舗、保健事業） 介護事業（60在宅介護事業所、教育事業） 保育事業（認可・認証 16園） 食品事業（学校給食食材卸・外食産事業、配食サービス4事業所） 〈2011年3月1日合併〉
売上高	約153 億円（2016年3月実績）
主要取引銀行	みずほ銀行、埼玉りそな銀行、横浜銀行、東日本銀行 他
ISO	2003年12月～2009年12月迄 全事業所取得
ISMS	2009年1月取得 現在継続

都内を中心として1都3県で事業展開をしております。





# 沿革

- 1966年 4月 株式会社給食普及会設立、小中学校給食食材卸売業としてスタート
- 1984年 9月 株式会社日本生科学研究所設立  
医薬事業部設立 「くすりの日生薬局」グループ診療所の調剤薬局オープン
- 1998年 10月 大型調剤薬局、「日生薬局河田町店」スタート
- 1999年 7月 教育事業部 日生福祉学園設立(新宿区、荒川区、江東区、和光市etc.より委託事業あり)  
8月 介護事業部設立 居宅介護・福祉用具貸与等スタート
- 2005年 8月 輸液調剤(HIT)事業 開始
- 2007年** 4月 和光市新倉高齢者福祉センター 民間企業では初の老人福祉センターの指定管理受託  
9月 和光市北地域包括支援センター 委託事業スタート
- 2008年 4月 和光市北第二地域包括支援センター 委託事業スタート  
7月 保健事業部設立(現在東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県他の自治体委託実績あり)
- 2011年** 3月 グループ会社(株)給食普及会と合併し食品事業部スタート  
4月 保育事業開始「日生赤羽駅前保育園ひびき」オープン  
9月 国交省モデル事業「日生オアシス和光」オープン
- 2012年** 9月 天皇・皇后両陛下による行幸啓を賜る(新倉高齢者福祉センター)
- 2013年 4月 認可保育園1号「日生矢向保育園ひびき」オープン  
9月 医療モール日生ビル 日生薬局「新若松町店」オープン
- 2014年** 10月 UR選定事業「ひばりヶ丘ケアヴィレッジ」オープン
- 2015年 11月 安倍内閣総理大臣、日生オアシス和光をご視察
- 2016年 2月 塩崎厚生労働大臣、日生オアシス和光をご視察





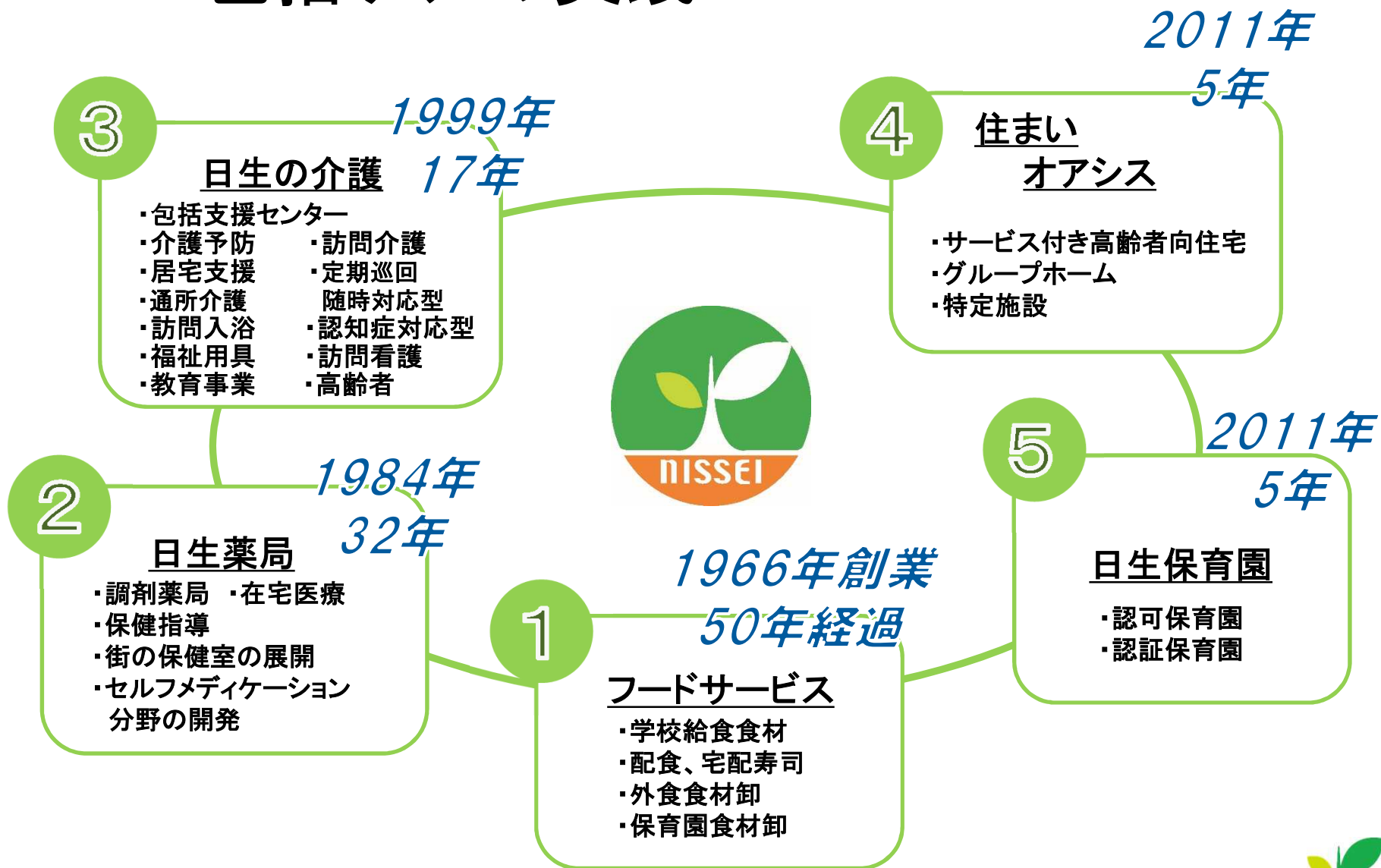
# 企業理念

- 創業の精神 「人の幸せづくり」 — どんな困難にも必ず一本の白い道がある —
- 経営理念 「まごころから始まる絆の響働」
- 使命目的 少子高齢化社会の課題に挑戦し、地域社会を明るく元気にする。
- ビジョン トータルライフヘルスケア産業のトップ企業を目指し、健康・安心・絆ライフラインを創造します。
- 教育理念 自ら成長して全社一丸体制を築き、良い職場、良い社会を創り、次世代に繋がります。
- 誓い 「私が、変わります」 愛が第一の動機の基に行動します。  
一、私たちは、一人でも多くの人の命・尊厳・自立を守ります。  
一、私たちは、お客様を第一にして、適正なサービスを誓います。  
一、私たちは、スピード、シンプル、サイエンスを誓います。  
一、私たちは、オープン・クリア・フェアを誓います。  
一、私たちは、プライバシーの遵守を誓います。  
一、私たちは、明るく・元気・前向きで、不屈の精神を誓います。  
一、私たちは、人間性の向上に努め、社会に貢献します。





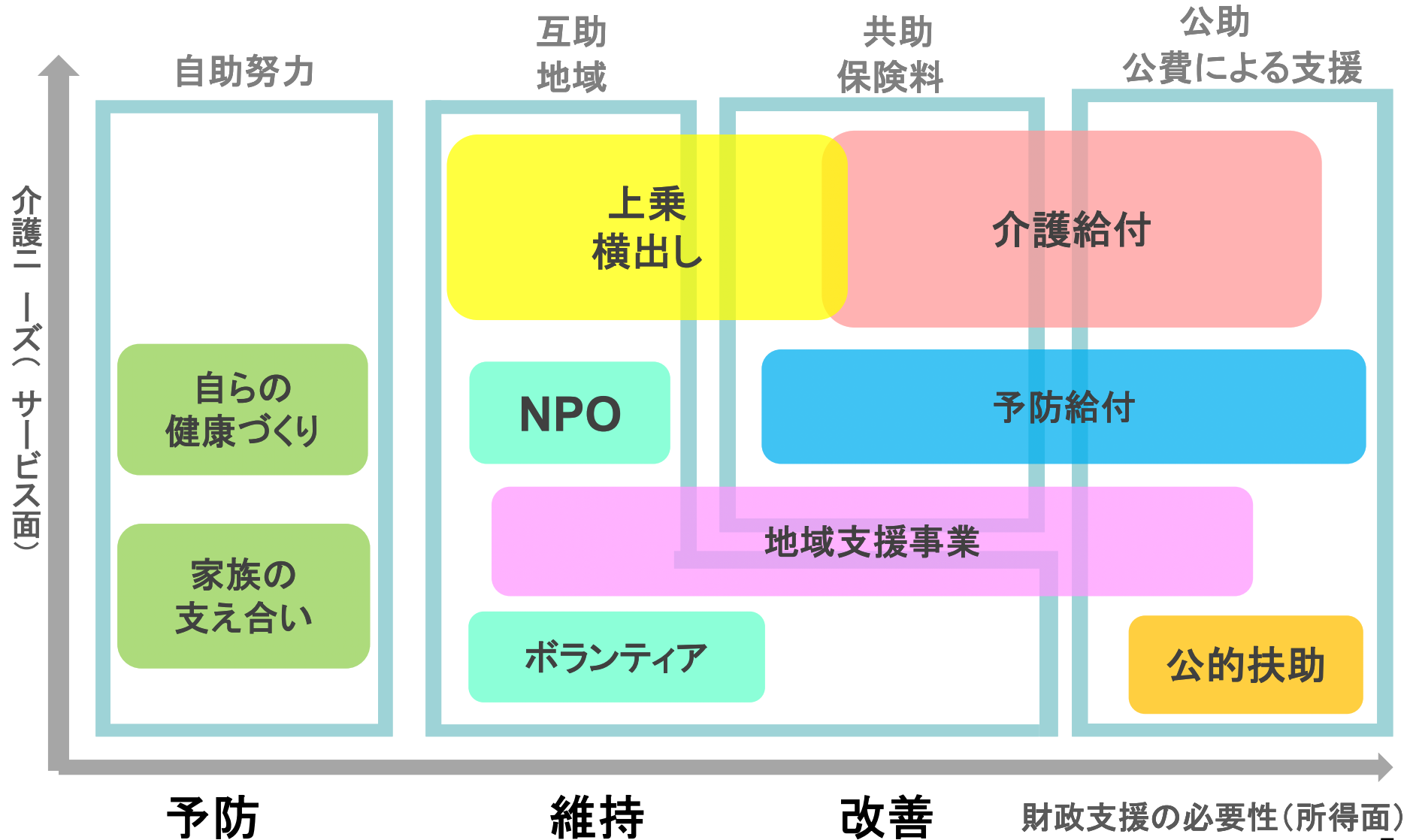
# 日生が目指しているもの 包括ケアの実践





# 医療・介護・住い・予防・生活

## 地域包括ケアの完成 ～自助・互助・共助・公助のイメージ～





# UR団地 ケアヴィレッジひばりが丘 での事例



# 地域ケア会議への参加

UR様より開設6カ月前から  
地域ケア会議参加への声かけを頂く

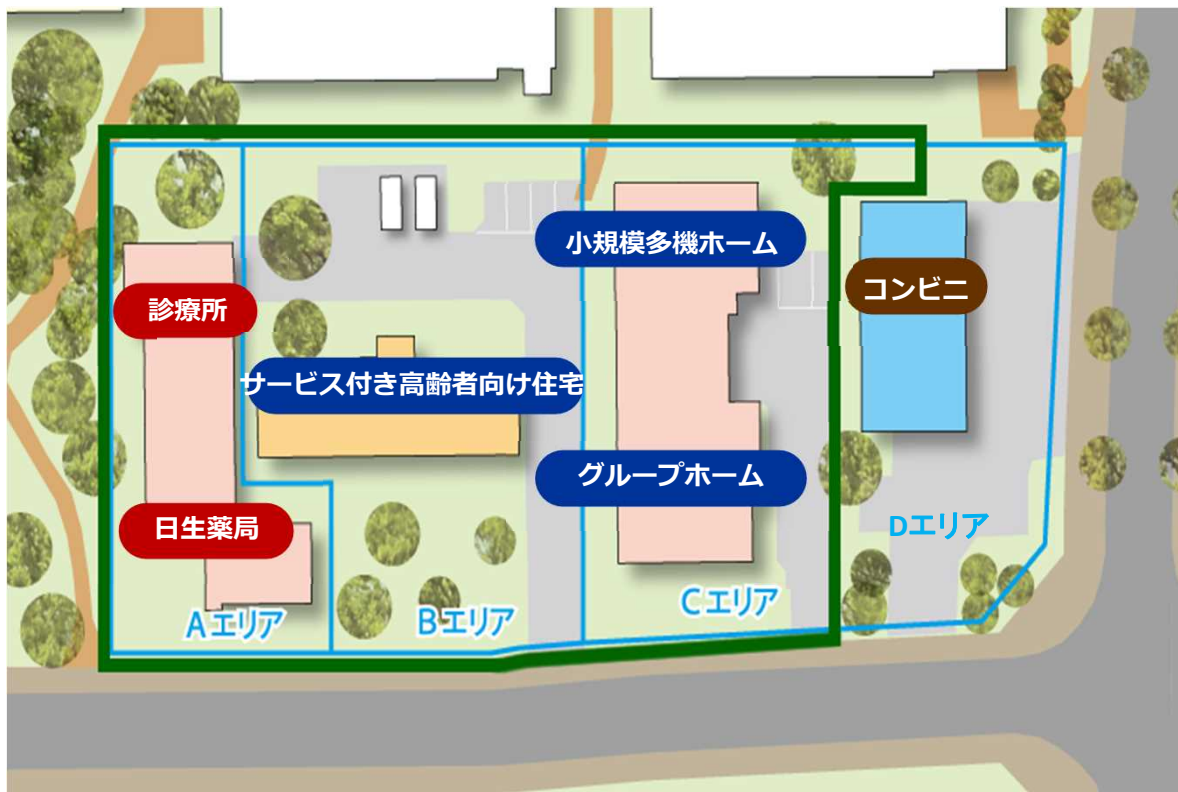
## 【参加者】

UR職員、UR管理センター事務、自治会、民生委員、  
地域包括支援センター職員、ケアマネージャー、  
サービス事業所職員 など 10～15名

団地高齢者の生活に対するカンファレンスを  
2か月に1回開催







	Aエリア (750㎡)	Bエリア (1,552.59㎡)	Cエリア (1,268.47㎡)	Dエリア (1,035.39㎡)
用途	診療所(内科等) 調剤薬局 居宅介護支援事業所 訪問介護事業所 訪問看護事業所	サービス付高齢者 向け住宅(16戸)	小規模多機能ホーム 認知症グループホーム (2ユニット)	生活支援 ローソンに委託
建物整備 主体	日本生科学研究所	UR都市機構	日本生科学研究所	日本生科学研究所

# 特徴

1. 団地再生
2. 官民協働
3. 医療と介護の連携
4. 多世代交流(人材育成)
5. 地域交流
6. 障害者・地域住民の雇用 etc.



# 特徴その1 団地再生 オアシスひばりが丘





# エレベーターの設置



## 特徴その2 官民協働

◆近くで外食でも出来ないかなあ



小規模多機能の方とも交流ができるよう  
に西東京市と協議 ⇒ 受理される



デイサービスの利用後、  
日生小規模多機能ひばりが丘で夕食を摂る  
サービス付き高齢者向け住宅のご入居者



# 特徴その3 医療と介護の連携

## 日生薬局 ひばりが丘店



## ひばりが丘 たらむらクリニック



## 特徴その4 多世代交流

### 節分

UR様に仲立ちしてもらい、近所の保育園から25名の園児と先生が参加された節分イベント。







# 特徴その5 地域交流 お餅つき



オアシス入居者・小規模&グループホームご利用者が参加。  
自治会の方・UR職員の方が主導で餅つきをして頂きました。

# 第4回青木杯争奪・ふれあいTB大会

～幼児から小学生・早稲田、東京福祉大学生、ご利用者、自治会役員様、社員～



27. 10. 31(土)於 早稲田大学所沢野球場

# ひばりが丘ケアヴィレッジ内 年齢別参加者

75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～90歳	90歳以上
1人	9人	4人	3人

**最高齢者は95歳の方でした！**



これには、

Tボール開発者早稲田大学吉村先生も  
驚きと感銘を受けられていました。



# 特徴その6 障害者・地域住民の雇用

## 第1回障害者が選ぶ 「自慢したい会社」に選ばれる

日本初!! 『障害者が選ぶ「自慢したい会社」  
大賞（東京編）』を受賞！

「知的・精神障害者を雇用している企業」を対象とし、無作為に選出された障がいを持つ就労者からの「アンケート」及び「聞き取り調査」により「働きやすさ」、「やりがい」、「満足度」の3つの観点から厳正なる審査によって**ひばりが丘ケアヴィレッジが大賞5社の中に選ばれました！**





# 地域からの雇用

- ◆現在、グループホーム・小規模多機能ホーム・オアシス3事業所合わせて、**全スタッフの45名の内、合計22名が地域の方です。**(徒歩10分圏内)
- ◆**22名の内、ひばりが丘団地に住んでいる方は8名になります。**また、**8名の中には『ひばりが丘団地自治会役員』の方が3名居ります。**

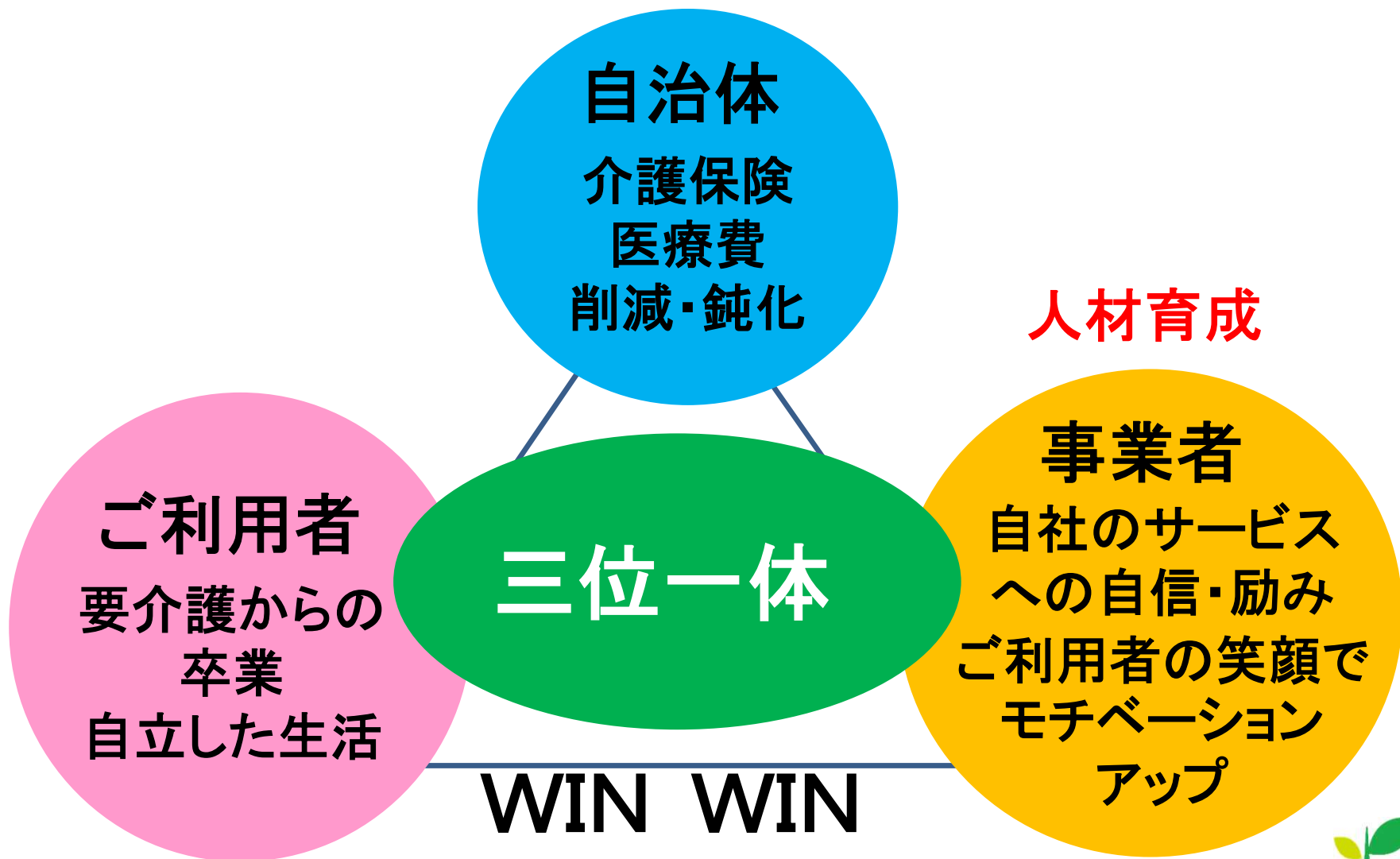
## 地域の方に働いて頂くメリット

- ①地域資源を良く知って行っているなので、活動時にご利用者の地域のなじみの場所を案内できる。
- ②地域の催し物や行事に深く関わることが出来る
- ③ご利用者の緊急時に、早急に対応ができる
- ④地域雇用の活性化に貢献できる

「なじみの顔」のスタッフがいてご利用者の皆さんも安心！



# 官民協働により改善型介護の実現で 得られるもの





区市町村へ計画の提案



自治体トップの決意



全体の危機意識の変革



改善への価値観の共有

予防・維持・改善型  
サービスと教育の導入  
によるマンパワーの変革



元気高齢者増大



介護度の改善



保険料の削減・鈍化  
ボランティア活動・リーダー育成



明るい地域の活性化



実行



# 店舗 & 事業所一覽



- 介護事業所
- サービス付き高齢者向け住宅
- 日生薬局
- 保育園
- 食品事業部



**ご清聴ありがとうございました**